

20. GDPと財政政策

経済的プレーヤーとしての政府

今回のキーワード

- ⊕ GDP
- ⊕ 公共事業
- ⊕ 財政赤字

今回の課題

- ✓ 国民経済計算(特にGDP)がどういうものかを理解する
- ✓ 乗数効果と、財政政策の基本を理解する

今回の内容

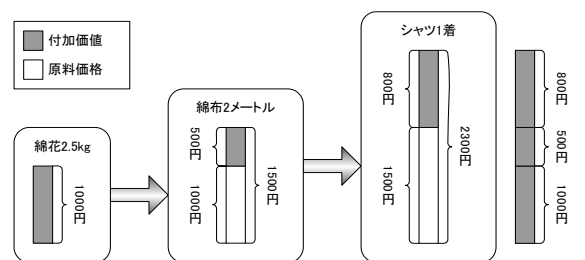
- ▶ GDP
- ▶ 乗数効果
- ▶ 財政政策

最終財の価格合計としてのGDP

- **国内総生産(GDP)**
=1年間の1国のフローの経済量(産出高)
 - 二重計算を避けるために、中間財(原料など)の価格は除外
- || すなわち
- 最終財(消費財・固定資本など)の価格の合計

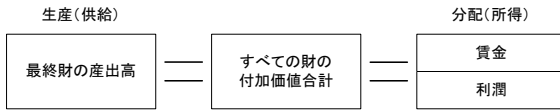
付加価値合計としてのGDP

- 最終財の価格の合計は、すべての財の付加価値の合計に等しい。



GDPは所得合計に等しい

- 付加価値総額は所得(賃金および利潤)として分配される。



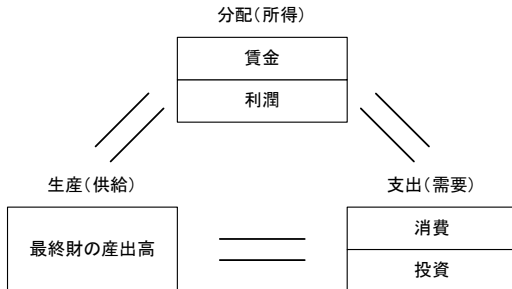
GDPは支出合計に等しい

- 結果的に、最終財の供給(産出高合計)は最終財への需要(支出合計)に一致する。

1. 家計が行う消費支出
2. 企業が行う投資支出
 - この場合の“投資”とは主に設備投資(固定資本形成)のこと。

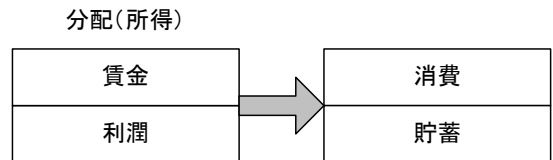
三面等価の原則

- 生産 = 分配 = 支出



所得の分割

- 所得は消費部分と貯蓄部分とに分かれる。



投資 = 貯蓄

- 支出から見ると、支出合計は消費支出と投資支出とに分かれる。
- 所得から見ると、所得合計は消費部分と貯蓄部分とに分かれる。
- 三面等価の原則によって、支出合計と所得合計とは等しい。
- したがって、結果から見ると、**投資 = 貯蓄**が成立する。

貯蓄と投資との違い

しかし、原因から見ると、――

- **投資**
 - 意志決定をするのは企業
 - 消費とは違って、GDPの水準以外の要因で決定
 - ここでは、GDPの水準いかにに関わりなく一定と仮定しよう
- **貯蓄**
 - 意志決定をするのは(主に)家計(従業員・株主)
 - 消費と同様に、GDPの水準に依存
 - あくまでも消費せずに残った部分

限界消費性向

■ 限界消費性向

=これから生じる1円の追加的収入に対して、どのくらいを消費に回すか。

- たとえば、いま誰も、これから生じる追加的収入の $\frac{2}{3}$ を消費に回す (したがって $\frac{1}{3}$ を貯蓄に回す) とすると、限界消費性向は $\frac{2}{3}$ 。

乗数効果(1)

100万円の投資の効果は100万円にとどまらない。

- 100万円で工場を建てると、工場建設労働者に100万円の所得が生じる。
 - 工場建設労働者は $66\frac{2}{3}$ 万円 (100万円の $\frac{2}{3}$) をパンに消費支出する。パン製造労働者に $66\frac{2}{3}$ 万円の所得が生じる。
 - パン製造労働者は $44\frac{4}{9}$ 万円 ($66\frac{2}{3}$ 万円の $\frac{2}{3}$) をシャツに消費支出する。..... (以下続く)

乗数効果(2)

これから行う追加的な1円の投資の効果は、1円にとどまらず、波及して、結局最終的には3円に近づく。これが**乗数効果**。

$$1 + \frac{2}{3} + \left(\frac{2}{3}\right)^2 + \left(\frac{2}{3}\right)^3 + \dots = \frac{1}{1 - \frac{2}{3}} = 3$$

まとめると、

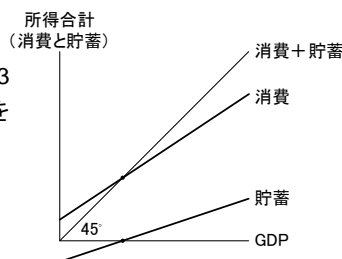
$$\text{乗数} = \frac{1}{1 - \text{限界消費性向}}$$

節儉と浪費

- 乗数の式から分かるのは、限界消費性向が高ければ高いほど、乗数も大きいということ。
- 不況の時代は先行き不安で誰も貯蓄したがりますが、しかしそうすると、社会全体にとっては有効需要が不足することになる。

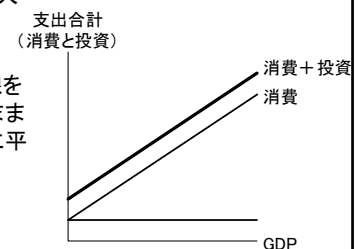
消費と貯蓄

- 限界消費性向が $\frac{2}{3}$ なら消費曲線の傾きも $\frac{2}{3}$
- 消費曲線と貯蓄曲線を加えると、原点を通る傾き1の45度線



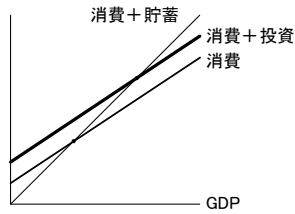
消費と投資

- 投資曲線はGDPの大きさに関わりなく、傾き0(仮定により)
- 消費曲線と投資曲線を加えると、傾きそのまま消費曲線が上方に平行移動



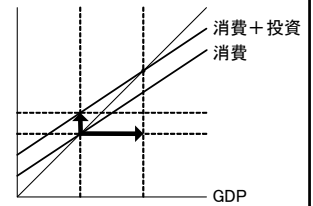
投資と貯蓄との均衡

- GDPは、投資＝貯蓄が成立する均衡点



乗数効果の図解

- 投資の増大 1 に対して、GDP の増大は 3

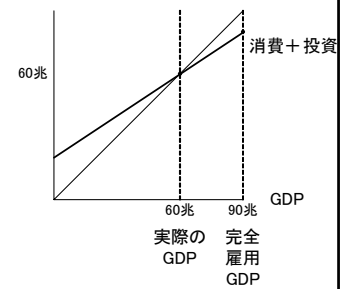


経済的プレーヤーとしての政府

- 収入
 - 租税・国債
- 支出
 - 財政支出
- 財政政策
 - 有効需要の不足を補う

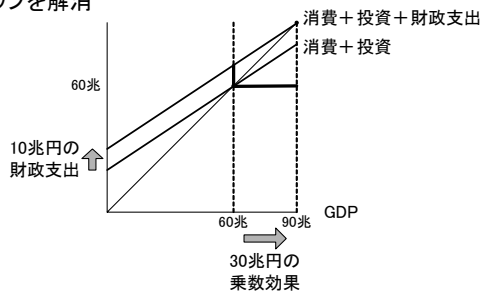
有効需要の不足

- 投資＝貯蓄が成立する均衡点では、完全雇用が達成されていない。
- 完全雇用を達成するには、GDP が 30 兆円だけ足りない。



財政支出の効果

- 赤字財政支出でギャップを解消



理想と現実

- 理想
 - 不況期に赤字財政になっても、好況期に税収が増えて赤字を解消
- 現実
 - 経常的な財政赤字たれながし